



「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録

【問い合わせ先】観光まちづくり課観光事業係（☎42 - 9111 内線 3623）

7月26日⑩、韓国・釜山で開催された世界遺産委員会で「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録が決定されました。桜井市にある遺跡・山田寺跡も構成資産に含まれています。地域の歴史と文化の価値が世界に認められた今、その魅力をあらためて感じてみませんか。

人類みんなの宝物 世界遺産

世界遺産は、歴史的・文化的または自然的に特に価値が高く、人類全体で守っていきべき遺産として、UNESCO（国連教育科学文化機構）によって登録されるものです。

「飛鳥・藤原の宮都」は、これまでも地域の人々を中心に大切に守られてきました。世界遺産登録をきっかけに、人類みんなの宝物として守り、未来に伝えていかなければなりません。

飛鳥・藤原の宮都は

「文化遺産」

世界遺産は3種類

- 文化遺産…人がつくった歴史あるもの(建物・遺跡など)
- 自然遺産…特別な自然の場所、貴重な動植物やその生息地など
- 複合資産…文化資産・自然遺産の両方の価値を持っているもの

日本の世界遺産一覧

- 文化遺産
- 自然遺産



▲各資産の詳細は
文化庁ホームページへ



飛鳥・藤原の宮都



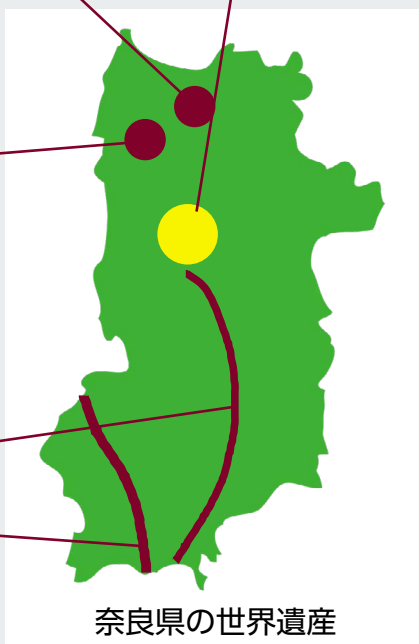
古都奈良の文化財



法隆寺地域の
仏教建造物



きいさんち れいじょう さんけいみち
紀伊山地の霊場と参詣道



奈良県の世界遺産

世界遺産登録までの歩み

平成 18 年 11 月 30 日

桜井市・橿原市・明日香村および奈良県と共同で「飛鳥・藤原—古代日本の宮都と遺跡群」を世界遺産暫定一覧表への追加記載候補として提案

平成 19 年 1 月 19 日

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」として、世界遺産暫定一覧表への追加記載候補に選定される

平成 19 年 1 月 23 日

世界文化遺産特別委員会で調査・審議結果が文化審議会文化財分科会で了承される

平成 19 年 2 月 1 日

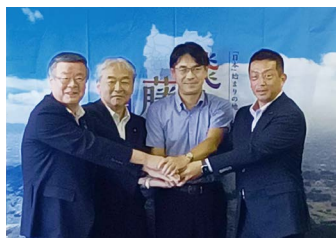
国から UNESCO に暫定リストを提出

平成 19 年 10 月 3 日

桜井市・橿原市・明日香村および奈良県で構成する世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会を設置

令和 6 年 9 月 9 日

文化審議会世界文化遺産部会で文化庁の推薦決定



▲推薦決定を受けた記者会見

令和 7 年 1 月 28 日

世界遺産条約関係省庁連絡会議で政府の推薦決定・推薦書を UNESCO 世界遺産委員会へ提出

令和 7 年 9 月

国際記念物遺跡会議 (ICOMOS) による審査・現地調査



▲パブリックビューイング記念撮影

令和 8 年 7 月 26 日

世界遺産委員会で審査・世界遺産登録決定

機運を高めた 周知の取り組み

地域全体で世界遺産登録を後押しする機運を醸成するため、シンポジウムや商業施設などで啓発イベントを開催してきました。



▲橿原市で行われたシンポジウム



▲イオンモール橿原での啓発イベント



▲あべのハルカスでの啓発イベント

「飛鳥・藤原の宮都」とは

世界遺産に登録された「飛鳥・藤原の宮都」は、桜井市・橿原市・明日香村にある今から約 1,400 年前の遺跡群で、19 の遺跡から構成されています。

飛鳥の宮都から藤原の宮都への都の変遷は、中国大陆や朝鮮半島の国々と交流し、新しい文化や社会の仕組みを取り入れながら、日本で初めて古代国家の宮都が誕生し、成立したことを示しています。その後につくられた平城京や平安京の造営と進化にも、大きな影響を与えました。

6 世紀末

694 年

710 年

古墳時代

飛鳥

中央集権国家体制の飛躍的発展

藤原

中央集権国家の成立

奈良時代

「飛鳥・藤原の宮都」構成資産一覧

写真提供：世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会ホームページ、明日香村教育委員会

新しい国の完成 宮殿・官衙跡

飛鳥の宮都では、まず天皇が住む宮殿が中心に置かれ、その周りに少しずつ官衙（役所）の建物がつくられていきました。

藤原の宮都では最初から宮殿を計画的につくり、国を治める機能が宮殿にまとまりました。このような宮都の変化は、日本で初めて誕生した天皇を中心に国を治める体制が完成していく様子を示しています。



③ 飛鳥水落遺跡



④ 酒船石遺跡



⑬ 藤原宮跡



① 飛鳥宮跡



② 飛鳥京跡苑池



▲各構成資産の詳細は「飛鳥・藤原の宮都」ホームページへ



お寺づくりと仏教の広がり、東アジアとの交流 仏教寺院跡

大陸から伝わった仏教は、古代日本の国づくりに大きな役割を果たしました。豪族たちが自分たちの力を見せるために寺（氏寺）を建てるようになり、仏教が広まりました。山田寺跡はその代表例です。その後、災いを鎮め人々の安全を守るために、国の寺（国家寺院）が建てられました。この変化は、仏教によって国を治めていく仕組みに取り入れられたことを示しています。



⑧ 川原寺跡



⑨ 檜隈寺跡



⑭ 大官大寺跡



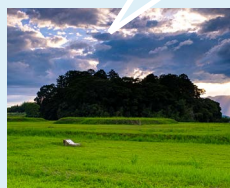
⑮ 本薬師寺跡



⑤ 飛鳥寺跡



⑥ 橋寺跡



⑦ 山田寺跡

桜井市にある構成資産です！

新しい墓の誕生 墳墓

古墳時代には巨大な前方後円墳がつくられていましたが、飛鳥時代には中国の影響を受けて、四角形の墓（方墳）や八角墳がつくられるようになります。八角墳は天皇の墓に使われており、天皇を中心とした国の誕生を示しています。石室に描かれた四神などの絵画は、墓の主を守るという考え方が中国から日本にも伝わったことを示しています。



⑫ 牽牛子塚古墳



⑩ 天武・持統天皇陵古墳



⑪ 中尾山古墳



⑬ 石舞台古墳



⑭ 菖蒲池古墳



⑮ キトラ古墳



⑯ 高松塚古墳

「飛鳥・藤原の宮都」 構成資産マップ

